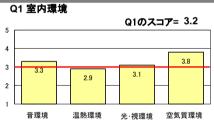
(∧5BEE[®]-建築(新築) ▮評価結果▮

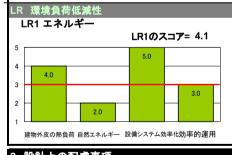
·建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD NC 2016(v2.1)

1-1 建物概要 1-2 外観 建物名称 (仮称)矢部3丁目ビル新築工事 階数 ₩ F5F 建設地 相模原市中央区矢部三丁目99番10外 構造 RC造 平均居住人員 用途地域 第1種住居地域、準防火地域 85 人 地域区分 6地域 年間使用時間 8.760 時間/年(想定値 建物用涂 集合住宅 評価の段階 実施設計段階評価 2019年2月 竣工年 予定 評価の実施日 2018年3月24日 敷地面積 1.640 m² 作成者 有限会社アイシー設計 建築面積 確認日 2018年3月24日 611 m 延床面積 2,580 m² 確認者 有限会社アイシー設計 -ト】2-2 ライフサイクルCO《温暖化影響チャ 建築物の環境効率(BEEランク&チャ 2-3 大項目の評価(レーダーチャート) BEE =1.2 ス性能 *** B: ** C: * 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超 A: ★★ B+: Q3 室外環 3.0 1.5 BEE=1.0 票準計算 Q1 100 ■修繕・更新・解体 □運用 □オンサイト □オフサイト 室内環境 R+ ①参照値 (軟地内) 100% う 建築物の取組み Ø B-0.5 I R1 L D3 環境品 敷地外理 エネル 生記+ オフサイト手法 46 92 138 (kg-CO₂/年・m² このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO^{2 性い ロー・}示したものです С LR2 資源 的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で 0 100 示したものです 環境負荷L 2-4 中項目の評価(バーチャ Q *のスコア*= 2.9













3 設計工の配慮争場		
総合		その他
第1種住居地域に建つ共同住宅として、建築物の環境品質を高めるのと同時に周辺に対する環境負荷を抑えるよう計		特になし。
画した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
①界壁の遮音性能Dr-55、床の遮音性能Lr-45を目標として	①バリアフリー新法の一般義務基準を確保している。	①緑化や空地率の削減等への取組みで、敷地内の温熱環
いる。		境の向上を行っている
②住戸の昼光率=2.0%以上	③階高=2.9m以上	
③カーテンと庇を組み合わせてグレアを抑制している。		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
①断熱等性能等級4	特になし。	①ライフサイクルCO2排出率=84%
②一次エネルギー消費量率=0.81		②光害ガイドラインのうち一部を満たし、屋外広告は設
		置しない。

- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される